

地域商店街活性化事業計画書

1. 助成事業者について

【商店街組織】

①名称	にぎわい商店街振興組合		②代表者役職・氏名 (ふりがな)	役職：理事長 氏名：経産 太郎 (けいさん たろう)	
連合会又は連名の場合、参加する会員数又は組織数			総事業費及び助成金額	総事業費 (4,424,750円) 助成金額 (4,000,000円)	
③所在地	〒123-4567 〇〇県〇〇市にぎわい町1番地2				
④電話番号/FAX番号	電 話： 012(345)6789		FAX： 987(654)3210		
⑤実施事業の担当者(ふりがな)	担当部署：事務局長 担当者氏名：活性化 花子 (かつせいか はなこ)				
⑥連絡先電話番号	000-123-4567	⑦メールアドレス		nigiwai@kassei.co.jp	
⑧設立年月日	昭和60年 1月 1日	⑨店舗の集積状況 (事業を営む者の数)	35店	⑩組合員数 (連合会の場合は 所属員数)	30人
⑪専従役員数 (常勤の役員数)	専従役員(役職名)： 0 人		専従職員： 0 人		
⑫属性 (該当する番号に○をつけてください)	①商店街振興組合、事業協同組合等において組織される法人格を持った商店街組織 ②法人化されていない任意の商店街組織であって、定款等により代表者の定めがあり、財産の管理等を適正に行うことができるもの ③上記①、②に類する組織(商工会、問屋街、共同店舗、テナントビル、市場など) ④商店街組織の連合体(連合会組織、連盟組織、連名、複数の商店街を包含する商工会等)				
⑬重複申請	※今公募において連合体とその傘下組織が重複して申請している場合に加えて、4次募集において連合会や連名等の2者以上の組織から成る連合体で採択実績があり、今回その傘下組織が単独で申請している場合、また、4次募集において傘下組織で採択実績があり、今回その傘下組織を構成員とする連合会や連名等の2者以上の組織から成る連合体で申請している場合にも記載してください。 連合体 事業者名：〇〇〇市商店街連合会 事業名：〇〇〇活性化事業 傘下組織 ①事業者名：〇〇〇商店街振興組合 事業名：〇〇〇祭 ②事業者名：〇〇〇商栄会 事業名：第〇回〇〇〇フェスタ				
中小指針の適用	有(無)		中小会計要領の適用	有(無)	

常勤の役員がいいる場合は、0人と記載してください。

・共同店舗、テナントビルは様式5-1
・市場等は様式5-2
・商店街組織の連合体等は様式5-3、
そのうち傘下組織との重複申請がある場合は様式5-4を記載してください。

I. 今公募において連合体とその傘下組織が重複申請している場合は、本欄に事業者名と事業名を記載してください。
II. 4次募集において、連合体又はその傘下組織の採択実績がある場合は、本欄に事業者名と事業名を記載してください。あわせて、(様式5-5)助成事業者確認書 4次募集との重複申請における確認事項もご記載ください。(連合体で実施する事業と傘下組織が実施する事業はそれぞれ異なり、事業効果についても合理的な説明を行ってください。)

中小指針、中小会計要領の適用有無について、該当するものを○で囲んでください。
なお、適用の有無は、本事業の採否に影響ありません。

中小指針：会計専門家が役員に入っている会計参与設置会社が抛ることが適当とされているように、一定の水準を保った会計処理
中小会計要領：中小指針に比べて簡便な会計処理をすることが適当と考えられる中小企業が利用することを想定した会計処理
(ご参考：<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/youryou/index.htm>)

商店街組織と民間事業者の連携体での申請の場合のみ記載。

※両者はイベント等の企画・運営に当たることとなり、いわば事業の実施主体となります。このため、事業の実施主体内での受・発注行為は原則として助成対象外となります。

【民間事業者】※該当者のみ

①名称	NPO法人地域にぎわい会		②代表者役職・氏名 (ふりがな)	役職：理事長 氏名：商業 活子 (しょうぎょう かつこ)
③所在地	〒765-4321 〇〇県〇〇市にぎわい町2番地1			
④電話番号/FAX番号	電 話： 000(987)6543		FAX： 000(345)6789	
⑤実施事業の担当者(ふりがな)	担当部署：副理事長 担当者氏名：地域 創 (ちいき つくる)			
⑥連絡先電話番号	654(321)000	⑦メールアドレス		kassei@nigiwai.co.jp
⑧資本の額又は出資の総額	-	⑨従業員数	12人	⑩主たる業種 にぎわい町地区の 地域づくりに関する 事業
中小指針の適用	有(無)		中小会計要領の適用	有(無)

連携体で申請する場合は以下もご記載ください。

事務局からの書類送付先	〒765-4321 〇〇県〇〇市にぎわい町2番地1		
実施事業の担当者(ふりがな)	氏名：地域 創 (ちいき つくる)	事務局からの連絡先 (電話、FAX)	電 話：654(321)000 FAX：765(432)100

地域商店街活性化事業計画書

2. 事業計画

①事業名	にぎわい商店街○○○事業
②事業実施予定期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
③商店街の概況	<p>【特徴】 私鉄○○○駅前に位置する全長○○mのアーケード商店街。○○、○○を中心とした業種で構成される近隣型商店街として、地域住民の○○○を○○○している商店街である。駅前広場の拡張工事に伴い、駅直結でアーケードにアクセスが可能になり、利便性が増している。</p> <p>【周辺地域の概況】 当商店街に隣接して○○市役所や○○○があり、また、商店街を抜けた先に○○の○○が新たに開校したため、昼間人口が増加している。一方で、周辺地域に○○○や○○○が進出する等、商業競争は厳しい状態になっている。</p> <p>【来街者の概況】 駅利用者多くが当商店街を通行し、○○の来街者が多い。顧客層は近隣の○○が多く、次に○○や○○となっている。</p> <p>【地域住民のニーズ】 これまでは近隣在住者向けの店舗が多く、○○○であったが、○○の開校に伴い、○○の○○の展開が求められている。</p> <p>【課題・問題点】 大型商業施設の進出が続くなか、本商店街の活性化は急務となっている。これまで○○や○○といったイベントの開催を続けているが、○○により増えているファミリー層にも対応した○○が望まれている。</p> <p>【取組状況】 ○○には、地域住民が参加できる○○○の開催や、○○○や○○○が○○○できるコミュニティ施設を運営する等、○○から○○とされる商店街活動を行っている。</p>
④商店街に意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の存在がある場合、本事業遂行における活動状況を記載	<p>青年部はこれまで○○○や○○○などの活動をしており、独自で○○○を開催するなど商店街活動への積極的な参加がある。また、女性部も○○○のため○○○や○○○地区の○○○も担っている。</p> <p>本事業では、青年部が中心となり、地域の○○○と連携しながら○○○を開催する。青年部は○○○および○○○を担当し、○○○のための○○○に取り組み。女性部は、従前より○○○してきたことを生かして○○○において○○○を担当することとしている。</p> <p>商店街組織に次世代を担う人材(若手・女性)がいる場合、組織内でどのような役割を担っているか、本イベント等事業の実施にあたってどのように関与しているかについて記載してください。</p>
⑤本事業の実施体制及び他機関との連携体制	<p>【実施体制】 ○○商店街においては、理事長が全体を統括し、担当Aが○○○、担当B（青年部）が○○○、担当Cが○○○を担う。</p> <p>【他機関との連携】 ①○○○開催においては、地元の○○センターと協働して○○○を実施する。 ②○○○調査においては、○○市○○課と連携して○○○に取り組む。 ③○○○事業においては、NPO○○○の協力のもと、○○○を実施する。</p>
⑥事業の概要	<p>※助成事業を活用して実施する事業のみ記載してください。 ※事業が複数ある場合（商店街の恒常的な集客力向上や販売力向上が見込まれるイベント等の事業と商店街の体質強化に資する事業等）、各事業の具体的な内容をそれぞれ記載してください。</p> <p>本商店街は、これまで○○○、○○○といった事業に取り組んできたが○○○や○○○というような状況が続き、○○○が大きな課題となっている。そこで、○○○のための○○○を開催し、○○○事業を実施する。さらに、○○○の○○○調査を行うことで、○○○開催や○○○事業がより○○○になるよう、また○○○な○○○や○○○向上につなげる。</p> <p>①○○○祭り開催（○○年○○月○○日予定） 青年部が中心となり○○○を○○○するための○○○を開催する。 これまで本商店街では、○○○等の○○○を実施してきたが、年々参加者数も減少傾向にあり、活気も失われつつある。 そこで、本事業においては、新たな事業として○○○商店街の○○○場所以て、地元○○による○○○等を開催する。○○○と協働して○○○を行うことで、本事業の○○○を向上させる。</p> <p>②○○○商店街MAP作成（○○年○○月） 商店街の各個店をPRするMAPを作成し、商店街内に設置している○○○を紹介するコーナーを設け、楽しみながら買い回りをしていただく。MAPは、○○○祭り会場で配ることで普段商店街を利用しない方々が商店街を回遊するきっかけとする。また、地域住民にも配布し、地元商店街の○○○を再認識してもらう。</p> <p>③○○○研修会（○月上旬～○月○旬、以降○回／週開催予定。） 次世代を担う○○○の経営者や商店街の○○○育成を目的に、○○○商店街の○○○や○○○にて○○○実践セミナー、○○○商店街の○○○と○○○事業等を実施する。 上記事業を実施することで、商店街の○○○性を高め、○○○で○○○力のある商店街の体質を強化することができる。</p> <p>④○○○調査（○○○開催にあわせて○○○を実施し、○月下旬まで分析を行う。） 上記①の○○○にあわせて、○○○の○○○調査を実施する。 上記①の地域住民を含めた来場者に○○○を実施し、○○○が求める○○○や商店街に求められている○○○、また上記②の○○○事業にどのような○○○が必要か等を調査し、今後の継続的な顧客の○○○や○○○事業の実施における○○○性や○○○性を検討を行う。</p> <p>⑤○○○商店街HP作成（○○年○○月～開設） 商店街のHPを開設し、各個店の最新情報等を紹介するページで○○○やセールスの案内を掲載する。HP限定の○○○情報を載せることで、HPを見た方が商店街で買い物をする仕掛けをつくる。イベント情報の発信も行い、地域住民だけでなく市外からの来場者も引きつけられるようにする。</p> <p>⑥空き店舗活用事業（○○年○○月～○○年○○月から毎月第3日曜日） 空き店舗を活用して地元NPOによる○○○運営を実施する。健康増進のために○○○を設置し、○○○について相談できる場とともに、多世代が集い○○○できるスペースも設け、気軽に立ち寄りもらえる空間をつくる。 利用者の声や利用状況をふまえ、本事業終了後も継続的に実施し、将来的には常設とできるように取り組んでいく。</p> <p>以上の事業を行うことで、○○○な事業効果が見込まれ、商店街の○○○を図ることで、継続的な顧客の○○○や他の○○○事業との連携などを通じ、商店街の活性化につなげる。</p>

事業が複数ある場合、全事業を含めた予定期間を記載してください。
(イベントの開催日時だけではなく、イベントの効果を最大化し、持続するための、商店街の体質強化に資するような事業を実施する期間も含めた予定期間です。)

※事業実施予定期間が3月中旬以降の事業が助成対象となります。

商店街の特徴(立地、規模、構成店舗の業種など)、周辺地域の概況(大型SCの進出など)、地域住民のニーズ、課題・問題点、取組状況(実施イベントなど)等をできるだけ詳細に記載してください。

記載内容は、あくまでも例示です。この事業に限定するものではありません。実施する事業を組み合わせせて記載してください。

・事業全体の概要
・各事業の詳細を実施場所や他事業との関連性も含めて、具体的に記載してください。
・事業が複数ある場合は、①、②、③・・・番号をつけた上で記載してください。

地域商店街活性化事業計画書

<p>イベント</p>	<p>※事業実施期間内に実施するイベント名及び開催予定日を記載してください。助成事業を活用して開催するもの、自己負担で開催するものに分けて記載してください。 ※イベントが複数ある場合にはそれぞれについて記載して下さい。</p> <p>イベント名：①〇〇〇開催（助成事業） ②〇〇〇開催（自己負担）</p> <p>開催予定日：①平成〇〇年〇〇月〇〇日 ②平成〇〇年〇〇月〇〇日</p>
<p>⑦従来から継続している事業の場合は、これまでとの違い（新規の要素）を記載</p>	<p>新規 ・ <input type="radio"/> 継続（該当する方を○で囲む） （継続の場合、具体的に記載）</p> <p>従前までは、〇〇〇開催は〇〇〇や〇〇〇や〇〇〇を実施してきたが、商店街全体への波及効果は低い状態となっていた。 本事業においては、新たに〇〇〇及び〇〇〇を実施し、〇〇〇と連携することにより、さらなる〇〇〇につなげることができる。</p> <p>行う事業が継続事業である場合、何らかの新規性が認められる必要があるため、できる限り新規の要素を詳しく記載してください。</p>
<p>⑧1次～3次募集において、地域商店街活性化事業の採択実績がある場合 過去採択事業の①事業名及び概要、②助成事業実績報告書の提出有無、③事業実施の効果に対する自己評価及び今回申請する事業へ反映した点を記載</p>	<p>①事業名：〇〇〇商店街活性化事業</p> <p>採択次： 1次先行 ・ 1次通常 2次先行 ・ <input checked="" type="radio"/> 2次通常 3次通常 （該当するものを○で囲む）</p> <p>概要：(1)〇〇事業：本商店街においても〇〇〇化が進んでいることから〇〇〇を〇〇〇するため〇〇〇を実施し、〇〇〇に取り組んだ。 (2)〇〇事業：〇〇〇を中心として〇〇〇を開催。（〇月〇日） 〇〇〇とも連携して〇〇〇することで〇〇〇につながった。</p> <p>②助成事業実績報告書の提出有無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 （該当する方を○で囲む）</p> <p>③過去採択事業実施の効果に対する自己評価及び今回申請する事業へ反映した点： （※特に過去採択事業と同様の事業を実施する場合には、過去採択事業からの変更点を明記）</p> <p>過去採択事業実施の効果に対する自己評価： 〇月に開催した〇〇〇には〇〇〇人の参加があり、参加者からは〇〇〇や〇〇〇などの意見があり好評を得た。また、事業実施前の歩行者通行量が〇〇〇人であるところ、事業実施後は〇〇〇人となり、賑わいの創出にもつながった。本事業の実施により、商店街組織内に〇〇〇に対する気運が高まり、〇〇〇が図られている。</p> <p>反映した点： 前回の事業は〇〇〇および〇〇〇を行うことで〇〇〇を図り、本商店街を〇〇〇させていく取り組みであったが、今回の事業は、それを踏まえて〇〇〇や〇〇〇を実施することとしており、〇〇〇することにより〇〇〇となり、加えて〇〇〇を行うことで〇〇〇となることから本商店街の〇〇〇につながる。</p>
<p>⑨4次募集以降において、地域商店街活性化事業の採択実績がある場合は、採択事業の①事業名及び概要、②今回申請している事業との違い、③それぞれの事業効果について、合理的な説明を記載</p>	<p>①事業名：〇〇〇商店街活性化事業</p> <p>概要：(1)〇〇事業：本商店街においても〇〇〇化が進んでいることから〇〇〇を〇〇〇するため〇〇〇を実施し、〇〇〇に取り組んでいく。 (2)〇〇事業：〇〇〇を中心として〇〇〇を開催する。（〇月〇日）〇〇〇とも連携して〇〇〇することで〇〇〇つなげていく。</p> <p>②今回申請している事業との違い：前回の事業は〇〇〇および〇〇〇を行うことで〇〇〇を図り、本商店街を〇〇〇させていく取り組みであり、今回の事業は、それを踏まえて〇〇〇や〇〇〇を実施することとしており、〇〇〇することにより〇〇〇となり、加えて〇〇〇を行うことで〇〇〇となることから本商店街の〇〇〇につながる。</p> <p>③それぞれの事業効果について合理的な説明：前回の事業を実施することでの事業効果は、事業実施前の歩行者通行量が〇〇〇人であるところ、事業実施後は〇〇〇人と設定していたところ、本事業の実施により〇〇〇が〇〇〇されることで〇〇〇が見込まれるため事業効果は〇〇〇となる。</p>

事業の概要に記載している内容を再掲してください。
イベント事業を複数実施する場合は、それぞれの開催予定日を記載してください。

行う事業が継続事業である場合、何らかの新規性が認められる必要があるため、できる限り新規の要素を詳しく記載してください。

地域商店街活性化事業計画書

数値目標は、事業を実施する商店街等の歩行者通行量、売上高(又は空き店舗数)を必須とし、事業実施後5年間の数値目標を設定してください。

数値は、約〇〇人やおよそ〇〇人とするのではなく、細かな数字で示してください。歩行者通行量には、自転車や自動車の台数は含めず、歩行者のみの数値としてください。計測日も記載してください。

3. 事業の効果・数値目標

①事業の効果・数値目標

※事業の効果を測定する指標として定めた、「歩行者通行量(イベント実施時などの通行量ではなく、平常時の通行量を用いること)」「増減及び「売上高」の増減(又は「空き店舗数」の増減)、その他独自に設定した指標の効果を記載すること

※基準値となる数値(事業実施前の測定値)はパーセンテージではなく、実数値で記載すること

「事業実施前」は、直近における実測値を記載してください。
※平常時の実測値データがない場合、申請書の提出までに調査した上で、直近の実測値を記載してください。(なお、交付決定前の歩行者通行量調査に係る経費は助成対象とはなりません。)
また、事業効果を測定するため、イベント等の事業終了後の数値目標についても記載してください。

①想定している事業効果の概要

〇〇事業を実施することにより、近隣消費者の商店街に対する認識を一層深め、地域との結びつきを強めることで来街客の増加に結びつけていくこととする。また、チャレンジショップに参加した若者等が、新たに実際の事業展開を進めていけるよう支援し、空き店舗解消に結びつけていくこととする。

②数値目標

時期	歩行者通行量	売上高(空き店舗数)
	数値目標	数値目標
事業実施前	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日) (〇〇年〇〇月〇〇日)	〇〇円 (〇〇店) (〇〇年〇〇月)
事業終了後	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日) (〇〇年〇〇月)	〇〇円 (〇〇店) (〇〇年〇〇月)
平成27年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日) (〇〇年〇〇月)	〇〇円 (〇〇店) (〇〇年〇〇月)
平成28年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日) (〇〇年〇〇月)	〇〇円 (〇〇店) (〇〇年〇〇月)
平成29年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日) (〇〇年〇〇月)	〇〇円 (〇〇店) (〇〇年〇〇月)
平成30年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日) (〇〇年〇〇月)	〇〇円 (〇〇店) (〇〇年〇〇月)
平成31年度	〇〇人/日(平日) 〇〇人/日(休日) (〇〇年〇〇月)	〇〇円 (〇〇店) (〇〇年〇〇月)

「事業実施前」の売上高は、直近における実測値もしくは推計値(〇〇万円)を記載してください。

売上高の実測値(〇〇円)を記載する場合には、〇〇万円以下は省略可とします。

数値目標の根拠を出来る限り、具体的に記載してください。なお、統計上のデータを引用した場合には、その旨を記載してください。

数値目標の根拠

歩行者通行量	
売上高(空き店舗数)	

③その他独自に設定した指標(任意)がある場合には、行を追加して記載して下さい。

②取組が単発で終わらず効果を維持するための工夫、資金の手当て

〇〇〇と連携して〇〇〇の取組みを行うことで、〇〇〇が可能となり事業継続が図られることに加え、〇〇〇や〇〇〇といった事業効果の継続性も保たれる。来年度以降も、〇〇と協働して〇〇運営を行っていくことで、〇〇が〇〇〇事業を実施することとなり、〇〇〇が期待できる。さらに、〇〇〇開催時に〇〇〇調査を実施し、〇〇に応じた〇〇〇を展開していくことで〇〇〇な商店街づくりを目指す。
事業継続のための資金の手当てについては、〇〇や〇〇から〇〇することによって〇〇していき、〇〇にも〇〇〇を〇〇〇していくこととする。

本事業のみならず、助成金の対象となっていないが、自主的な取組などが事業効果の継続性に寄与する場合、それらも含めて記載してください。

経費明細書

事業者名	〇〇商店街振興組合	消費税抜き金額 (助成金額の合計が助成金額の上限を超える場合は、 金額を調整してください。)
事業名	2014 〇〇商店街〇〇フェスタ	

消費税抜き金額

(単位:円)

区分	項目	助成事業に 要する経費 (消費税込)	助成対象経費 (消費税抜き)		助成金額 (消費税抜き)	助成事業に要する経費にかかる積算内訳 (消費 税込込み)
			員数・回数等	事業金額		
①謝金	謝金	216,000	4人	200,000	200,000	〇〇65,000、〇〇〇71,000、〇〇〇40,000×2人=80,000
②旅費	旅費	123,450	3人	114,305	114,305	〇〇30,860、〇〇〇41,150、〇〇〇25,720×2=51,440
③庁費	会議費	21,600	5回	20,000	20,000	@400×10人×5回×1.08=21,600
	借料	550,800	—	510,000	510,000	〇〇ホテル@20,000×5回×1.1×1.08=118,800、 〇〇施設@200,000×2日×1.08=432,000
	設営費	1,458,000	—	1,350,000	1,219,884	ステージ設営500,000×1.08=540,000詳細は別紙 のとおり、PAレンタル200,000×1.08=216,000、 ・椅子・テーブル等レンタル等250,000×1.08= 270,000、遊具レンタル@200,000×2×1.08= 432,000
	広報費	529,200	—	490,000	490,000	ポスター@300×500枚×1.08=162,000、チラシ@ 20×5,000枚×1.08=108,000、折込@10×4,000 枚×1.08=43,200、新聞広告100,000× 1.08=108,000ラジオ放送100,000×1.08=108,000
	印刷費	275,400	—	255,000	255,000	抽選券@50,000×1.08=54,000、イベントマップ@ 100×2,000枚×1.08=216,000、イベントアンケート 用紙コピー@10×500枚×1.0=5,400
	資料購入費	22,627	—	20,950	20,950	イベント事例集@2,057×11=22,627
	通信運搬費	43,050	—	39,861	39,861	イベント案内@82×525=43,050
	備品費	37,800	—	35,000	35,000	拡声器等レンタル 詳細は別紙のとおり
	消耗品費	5,400	—	5,000	5,000	ガムテープ、画用紙、軍手等 詳細は別紙のとおり
	委託費	648,000	—	600,000	600,000	イベント企画・運営・通行量調査@600,000×1.08 =648,000 詳細は別紙のとおり
	外注費	270,000	—	250,000	250,000	イベント警備@25,000×5人×2日×1.08=270,000
	雑役務費	240,000	—	240,000	240,000	@8,000×15人×2回=240,000
	小計	4,101,877	—	3,815,811	3,685,695	
④その 他の経 費	その他の経費	0	—	0	0	
①～④の合計		4,441,327	—	4,130,116	4,000,000	
⑤その他助成対象外経費		102,850	—	—	—	道路使用・占有申請料等
総事業費 (①～⑤の合計)		4,544,177	—	4,130,116	4,000,000	

注1：イベント等と体質強化の事業等、事業が複数となる場合、事業ごとの経費明細書とは別に、経費明細書の総括表も提出してください。その場合、本様式を適宜複製してご使用ください。

注2：各経費の積算内訳を示してください。必要に応じて別紙を添付してください。

※商店街組織と民間事業者が連携をする場合には、以下も記載してください。

	商店街組織 (〇〇商店街振興組合)	民間事業者 (N P O 法人〇〇)
総事業費	3,354,977	1,189,200
助成対象経費	3,040,116	1,090,000
助成金額	2,910,000	1,090,000

(様式4)

地域商店街活性化事業 支援表明書【市区町村】

平成 年 月 日
印

助成事業者名	
事業名	

記載市区町村	
担当部署	
担当者名	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

1. 当該地方公共団体が考える助成事業者（商店街組織）の役割・重要性

市域に存在する商店街全般の役割・重要性ではなく、個別の助成事業者の役割・重要性について言及してください。

2. 今後の助成事業者（商店街組織）に対する支援への意見表明

市域に存在する商店街全般に対する支援ではなく、個別の助成事業者に対する支援への意見表明についてご記載ください。

助成事業者確認書

【様式5-1】

●共同店舗、テナントビル等からの申請における確認事項

<借り手の多くが中小企業者であることの説明>

借り手 【店舗数】 大手：○店舗 中小：○店舗 【床面積】 大手：○% 中小：○%	(説明) 借り手に大手企業(○○、○○、○○、○○)は存在するものの、店舗構成は中小企業が○%を占めており、床面積でも中小企業が○%を占めていることから、借り手の多くが中小企業者であることは満たしていると考ええる。
---	--

【様式5-2】

●市場等からの申請における確認事項

<不特定多数の一般消費者を対象として事業を行っていることの説明>

(説明)※HP画面やチラシを添付しても可 ○○市場は一般消費者を対象として○○を行っており、○○だけでなく○○の買い物の場として定着している。
--

<開場時間>

AM○○時～PM○○時 定休日：○曜日

助成事業者確認書

【様式5-3】

①商店街組織の連合体等(連合会、連盟、連名、商工会等)からの申請における確認事項

＜傘下の商店街組織リスト及び傘下の商店街組織ごとの事業効果＞

傘下の商店街組織		歩行者通行量		売上高 (空き店舗)		その他	
		実施前	実施後	実施前	実施後	実施前	実施後
1	〇〇商店街振興組合	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		
2	〇〇商店街振興組合	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		
3	〇〇商店街振興組合	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		
4	...						
5	...						
合計	〇〇商店街組合連合 会	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		

商店街組織名は必ず正式名称をご記載下さい(略称不可)。

※傘下の商店街組織の数に応じて、行を追加して記載して下さい。

＜傘下の商店街組織それぞれの商店街等区域図＞

※歩行者通行量について、測定箇所を商店街等区域図(各店舗の場所が分かる街区図)に図示してください。

【様式任意(※別紙で添付すること)】

なお、連たんする商店街組織の場合、合理的な説明があれば、必ずしも全ての傘下商店街組織ごとの事業効果は必要ありません。

●連たんする商店街組織において、傘下の商店街組織ごとに歩行者通行量を測定しない場合、その理由

(説明)

5. 〇〇商店街振興組合と6. 〇〇商店街振興組合は、いずれも〇〇通り沿いに南北に延びる商店街のため、その連結部である〇〇前(別紙街区図参照)で測定することで、適切に歩行者通行量を測定できると考える。よって、2商店街の歩行者通行量は、〇〇前1地点での測定結果を記載している。

※上記の説明は、測定箇所を図示した商店街等区域図(各店舗の場所が分かる街区図)に記載しても構いません。

助成事業者確認書

【様式5-4】

②重複申請における確認事項

<傘下商店街組織が本助成事業に申請していることについての言及>

(説明)

〇〇商店街振興組合は、単独で〇月〇日に申請している。
〇〇商店会は、〇〇商栄会及び〇〇商店街と3者の連名で〇月〇日に申請している。
〇〇商店街は、〇〇協議会の構成員として〇月〇日に申請している。

その他、〇〇の商店街組織は本助成事業には申請していない。

<連合体が実施する事業と傘下商店街組織が実施する事業との違い>

(説明)

本連合会で実施する事業は〇〇を目的とした〇〇であり、傘下の〇〇商店街振興組合が単独で申し込んでいる事業は〇〇を目的とした〇〇であり、〇〇という点で異なっている。また、〇〇商店会の3者連名申請の事業については、〇〇及び〇〇を実施するものであり、〇〇とは異なる。〇〇商店街が〇〇協議会の構成員として申請している事業は、〇〇と連携して〇〇を実施するものである。上記の〇〇と〇〇と〇〇を実施することにより、本連合会で実施する事業にも〇〇などの相乗効果が見込まれ、以下の事業効果につながると考えている。

<連合体と傘下商店街組織それぞれの事業効果>

(説明)

〇〇商店街振興組合の事業実施前の歩行者通行量は〇〇で、事業実施後の通行量は〇〇である。本連合会が実施する事業と〇〇すると、〇〇商店街振興組合の事業実施後の歩行者通行量は、〇〇となる。あわせて、〇〇商店街振興組合の事業実施前の売上高は〇〇で、事業実施後の売上高が〇〇であるところ、本連合会が実施する事業と〇〇すると、事業実施後の売上高は〇〇となる。…

助成事業者確認書

【様式5-5】

<事業名及び概要>

(事業名)①事業名:○○○商店街活性化事業

(概要)概要:

- (1)○○事業:本商店街においても○○○化が進んでいることから○○○を○○○するため○○○を実施し、○○○に取り組んでいく。
- (2)○○事業:○○○を中心として○○○を開催する。(○月○日)○○○とも連携して○○○することで○○○つなげていく。

<今回申請している事業との違い>

(違い)

前回の事業は○○○および○○○を行うことで○○○を図り、本商店街を○○○させていく取り組みであり、今回の事業は、それを踏まえて○○○や○○○を実施することとしており、○○○することにより○○○となり、加えて○○○を行うことで○○○となることから本商店街の○○○につながる。

<それぞれの事業効果について合理的な説明>

(説明)

前回の事業を実施することでの事業効果は、事業実施前の歩行者通行量が○○○人であるところ、事業実施後は○○○人と設定していたところ、本事業の実施により○○○が○○○されることで○○○が見込まれるため事業効果は○○○となる。